

令和6年度 第1回境港市廃棄物減量等推進審議会 概要

□ 日時：令和7年2月19日(水) 午後2時~午後3時40分

□ 場所：境港市役所 第1会議室

□ 出席者(敬称略)：

<委員> ※◎…会長 ○…副会長

◎山本 貴之 ○岡田 礼子 庄司 亨 松本 直樹 赤井 栄作
渡邊 昇 伊達 勇介 小笠原 友子 仲田 雅彦

※欠席委員：早川 多久美 有木 恵子 大西 勝代

<事務局>

亀井 功(市民生活部長) 石倉 俊一(市民生活部次長兼環境・ごみ対策課課長兼清掃センター所長)

足立 賢一(同課課長補佐兼リサイクルセンター所長) 岡仲 一徳(同課清掃センター管理係長)

河田 歩夢(同課主事)

□ 傍聴者：なし

□ 内容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

1. 境港市一般廃棄物処理基本計画(令和5年3月改定)の進捗状況について(資料1)

2. 事業系一般廃棄物組成調査(令和6年9月実施)の結果について(資料2)

3. 境港市災害廃棄物処理計画(案)について(資料3)

4. 意見交換

議事1

(渡邊委員) 資料1の中で古紙の減少などがリサイクル率の減少につながっていると書かれているが、近ごろ民間に直接搬入しているケースもあるので、リサイクル率の減少とは言いにくいのではないかと。

(事務局) 県から送られてくるデータには入っているので含まれた数字ではある。だがリサイクルの中で古紙の割合が多いのは事実であり、古紙の排出量が減っているので、リサイクル率が悪化していると認識している。市役所としても内部的なところではペーパーレス化も進めている。

(伊達委員) フードドライブの提供を受ける際に身分証の提示をする必要があるのか。

(事務局) 身分証の提示は求めない。賞味期限が2か月以上あるものなのか、受け取れないものなど後で連絡がつくように電話番号と名前は伺っている。

(伊達委員) 提供者の善意によってフードドライブは行われていると思うが、食中毒などの問題もあり口に入れるものなので、身分証くらいは提示してもらったほうがいいのではないかと。

(事務局) そのような懸念も十分に考えられるので、フードドライブの連絡協議会等で受付体制について議論していきたい。

(渡邊委員) ペットボトルの水平リサイクルの協定は今までとの処分の違いはなにか。

(事務局) これまでの処理方法は洗う、選別、粉碎しペットボトルや繊維になっていたが、改めて今回協定を結ぶことで、ペットボトルからペットボトルになるという循環が生まれる仕組みになった。

(赤井委員) 1人1日当たりのごみ排出量がR5(2023)年実績値で目標達成となっているが、R9(2027)

年に向けて目標の再設定は行うのか。

(事務局) 新たに目標を再設定することは今のところ考えていないが、R9(2027)年にまた改定があるので、その際には今回のように市民の皆様の頑張りによって前倒して目標が達成できたこと等を加味して改めて目標設定を行いたい。

(伊達委員) 5年計画のものが2年で目標達成してしまっているのは、計画が杜撰であったと捉えることもできるのではないかと。

(事務局) 目標設定の甘さについての意見は真摯に受け止めたい。ごみの減量化に経済的要因など様々な要因があるため、目標設定も難しいところもあるが、要因も探りつつ、啓発活動をしていきたい。

(仲田委員) さんあ〜るのアプリはとても便利だと思うが、もっと広報したほうが良いのではないかと。

(事務局) 広報に関しては、市のごみ袋(外袋)、ごみ分別カレンダー、市報(毎月)で広報している。その他の広報については課題であると認識しているので、考えていきたい。

議事2

(伊達委員) 境地区は観光や飲食で小さい会社や法人経営など多いが、そのような所にどうアプローチしていくのか(啓発活動や意識の啓蒙だけでは難しいのではないかと)。

(事務局) 現時点では、啓発等では難しいのは承知しているが、引き続き啓発や意識の啓蒙をやっていく。また事業所などの意見等も聞きながら、商工会議所とも協力しながら考えていきたい。

(仲田委員) 今回のこの組成調査の報告をみて、とても素晴らしい調査だったのではないかと。今後も今回の調査結果等を踏まえて断続的に調査していただきたい。

議事3

(山本会長) 平時から何をしなければいけないかなど広くアピールすれば、意見が集まるのではないかと。

(事務局) 今回の計画では基本の考えを整理したものとなっている。市としても平時からこんな想定をしているというアピールをしていく。

(渡邊委員) 今回想定された地震ではどれくらいの被害が出るのか。

(事務局) 最も廃棄物が多く出る想定なのは、F55断層地震である。地震も強く、津波も来る想定で被害が約5万9000トンである。境港市の約2万1700棟のうち半分は何らかの被害が出る想定。

(伊達委員) 廃棄物の置き場の6ヘクタールの想定は状況に応じて設定するのか、平時からあらかじめ決めているのか。

(事務局) 大きい場所が限られている問題はある。今のところ、大きさは場所によって異なるが、公有地で5、6か所想定している。

(伊達委員) 最大の津波被害想定(3.7m)とあるが、中海まですべて流れるのではないかと。

(事務局) 4m程度の津波でも途中で止まるので、すべて流れることはない想定している。

(山本会長) 人の被害もあれば、廃棄物処理の人員のよっても処理スピードなども変わってくるのではないかと。

(事務局) そうなれば当然、他市の職員や民間からの応援が必要になってくる。

議事4 意見交換

(岡田副会長) いろいろな意見を聞かせていただき、これからの生活で生かしていきたい。

(松本委員) コロナ禍等で困窮世帯が非常に増えており、フードドライブのような食品ロスの観点から、困窮世帯に食品が渡るとするのは非常に有効な方法だと思います。

(小笠原委員) 食品の廃棄物について興味があり、また考えさせて頂きたいと思います。

以上